

「県民活動白書」の刊行に当たって

私たちが暮らす山口県は、豊かな自然や歴史・文化資源に恵まれ、優れた産業インフラや生活基盤がある一方で、若者の県外流出や少子高齢化の進行により、人口減少が大きな課題となっています。

また、3年に及ぶコロナ禍の中で、人々の意識や価値観、行動に変化が生じるとともに、デジタル化や脱炭素化等の社会変革など、私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。



私は、こうした課題や状況の変化に向き合い、しっかりと対応するため、新たな県政運営の指針である「やまぐち未来維新プラン」に基づき、「産業」「大交流」「生活」の「3つの維新」をさらに進化させ、「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に全力で取り組んでいるところです。

とりわけ、県民の自主的・主体的な社会参加により地域の課題解決に取り組む県民活動は、魅力ある地域社会を実現する上で大変重要な役割を担っていることから、「生活維新」の重点施策の1つに、「県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進」を掲げ、昨年度改定した「山口県県民活動促進基本計画」に基づき、県民活動への理解と参加の促進をはじめとする様々な取組を展開しています。

本年度は、山口きらら博記念公園でのイベントや高校・大学等と連携したボランティア体験会等の開催により、県民活動の魅力発信や参加機会の提供を行うとともに、「プロボノワーカバンク」の創設・運営による県民活動団体の基盤強化や「協働ファシリテーター」の養成・配置による団体と多様な主体との協働を推進しています。

この白書は、本県における県民活動の現状や課題を明らかにするとともに、県や市町、関係機関等の令和4年度に講じた施策や令和5年度の計画等について紹介しています。

本書を通じて、県民活動に関する理解が一層深まり、より多くの県民の皆様が県民活動に積極的に参加され、県民活動がさらに活発化していくことを心から願っています。

令和5年（2023年）10月

山口県知事 村岡嗣政